

資 料 提 供

令和8年7月21日

課 名：商工労働総務課

担 当 者：藤原

内 線：3310

直通電話：082-513-3380

令和8年度中小企業振興功労者表彰（知事表彰）について

1 概 要

中小企業基本法公布の日（昭和38年7月20日）を記念して、県内の中小企業者及びその関係者で、多年にわたり事業に精励し、経営の改善・技術の向上等に積極的に取り組み、その業績が顕著であり、他の模範となるべき者を知事が表彰する。（昭和53年から毎年度実施）

2 被表彰者

3名

※詳細については別紙1のとおり

3 表彰式

(1) 日 時 令和8年7月22日（水） 11：00から

(2) 場 所 県庁北館2階 第1応接室

4 その他

表彰式は、被表彰者及びその関係者のみの出席となります。

※報道関係者の方は、入場することができます。（撮影位置は別紙2のとおり）

令和8年度 中小企業振興功労者表彰（知事表彰）被表彰者略歴（3名）

〔年齢順〕（R8. 7. 22時点）

氏 名	むくだ まさお 棕田 昌夫 79歳 (昭和21年11月24日生)	推薦団体	広島商工会議所推薦
		現 住 所	広島市中区
主な職歴	広島電鉄株式会社 代表取締役会長 広島商工会議所 常議員、運輸部会 部会長	表 彰 歴	平成30年10月11日 中国運輸局長表彰（鉄道関係功労） 令和2年10月17日 国土交通大臣表彰（鉄道関係功労者大臣表彰）
主な功績	■ 広島電鉄株式会社における功績 多様な働き方の整備を通じて、安全・安心な輸送を支える優秀な人材を安定的に確保し、若手からベテランまで男女を問わず全員が力を発揮できる働きやすい職場環境づくりを推進した。 平成26年5月、女性活躍推進プロジェクトを発足。平成28年4月、女性活躍推進法に基づき広島電鉄株式会社行動計画を策定し、女性従業員の積極的な採用や管理職への登用に努めるとともに雇用環境の整備に取り組んだ。平成29年9月、短時間正社員制度導入とシニア社員制度の拡充を図り、平成30年4月に企業内保育施設「ひろでんまめっこ保育園」を開園した。 令和元年12月に育児目的休暇制度を導入し、令和5年7月には時差出勤及びリモートワークを制度化した。加えて、令和6年4月には普通日勤者を対象にフレックスタイム制度を導入するなど、働きやすい職場環境の整備を積極的に推進し、職業生活と家庭生活の両立に寄与した。 ワーク・ライフ・バランスの取れた多様な働き方の実現に向けた一連の施策が評価されて、平成29年2月「健康経営優良法人ホワイト500」、同年9月「第1回広島県働き方改革実践企業」にそれぞれ認定された。また、令和3年4月には、自動車運送事業者を対象とした「働きやすい職場認証制度」において、一つ星認証を受けた。 令和3年1月、クロスジョブ制度を導入し、社員が自分の能力を積極的に発揮しチャレンジできる機会を拡大することで、主体的なキャリアの形成を促す機会を創出し、業務を通じた人材育成の強化や業務変革の促進を図った。 令和6年3月、65歳以上のシニア社員の雇用上限年齢を見直し70歳以上の雇用を可能とし、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に定める社会的責任を果たすと共に人材不足の解消を図ることで安定した公共交通サービスの提供を実施している。 このほか、「わかりやすく使いやすい公共交通に向けての取組み」、「インバウンド施策への取組み」等により、地域振興・地域経済の活性化に貢献した。 ■ 広島商工会議所に関する功績 令和元年11月から令和4年10月までの3年間、副会頭を務める。その間、運輸と建設業2つの部会を管掌するとともに、観光・文化、街づくり、グローバルMICE検討特別、広島商工会議所ビル建設特別の各委員会も担当。 その間、副会頭として、同所が地元選出国會議員や広島県知事、中国経済産業局長らに対して毎年行う中小企業の地域活性化施策に関する意見・要望に携わり、コロナ禍で経済が停滞する中、地域経済の回復に向けての支援施策の拡充・強化を盛り込んだ要望案の策定に参画した。 また、平成25年から現在に至るまで、同所運輸事業者で構成する運輸部会の役員を歴任。副部会長、部会長として、国への要望や行政機関との意見交換等により、地域の運輸事業者・業界の振興に尽力。地域の経済活性化に貢献した。 さらに、観光振興担当の副会頭として、観光関連の施策推進に尽力。令和2年11月には同所も実行委員にして参画している「ひろしま神楽振興推進実行委員会」が中心となり実施する「ひろしま神楽を活用した新たな観光客誘致事業」や行政・観光振興機等との連携強化・協力により、クルーズ客船の誘致など、インバウンド観光の推進に取り組んだ。さらに、「ひろしまフラワーフェスティバル」や「ひろしまフードフェスティバル」、「ひろしまドリミネーション」の開催に際しても積極的な協力を行った。 このほか、建設業部会の管掌副会頭として、行政機関との意見交換等により、地域建設業の振興についての取組みを行った。 このほか、「グローバルMICE検討特別委員会」、「広島商工会議所ビル建設特別委員会」担当副会頭として、これらの推進に取り組んだほか、まちづくりの推進、運輸業振興、交通体系の整備促進等の担当業務に注力。大いなる成果を出した。 なお、令和4年10月の副会頭退任後も、令和4年11月より常議員に就任し、引き続き、広島商工会議所の役員として、同所が展開する運輸、観光、まちづくりに係る事業、及び中小企業施策推進等へ貢献している。		

氏 名	みやがわ ひろまさ 宮川 裕正 73歳 (昭和27年10月24日生)	推薦団体	広島県中小企業団体中央会推薦
		現 住 所	広島市西区
主な職歴	宮川興業株式会社 代表取締役統括顧問 広島安全施設業協同組合 理事長	表 彰 歴	平成30年7月10日 国土交通大臣表彰（建設事業関係功労） 令和元年11月7日 全国中小企業団体中央会会長表彰（組合功労者）
主な功績	■ 広島安全施設業協同組合に関する功績 平成5年5月、専門業種として高品質な仕事の実現、新技術の導入及び効率的な経営の推進を目的として、広島安全施設業協会を改組し、広島安全施設業協同組合を設立した際には、その設立実務を担当した。 同組合設立以降は、零細・中小企業である会員各社に対し、経営支援、業務改善及び技術講習について、中小企業団体中央会の補助事業を活用するなど、所管団体としての活動を通じて効果的な実施に尽力した。 特に、全会員の協力を得て、県内一円の道路付属物、区画線及び標識の破損や劣化の状況について、自主的な老朽化実態調査を毎年継続して実施した。 こうした長年にわたる功績が評価され、平成12年5月に理事長に就任。理事長就任後は、道路インフラの老朽化について一般市民の理解を深めるための啓発活動にも取り組み、専門業種のノウハウを生かしたボランティア活動は、交通事故の未然防止に資するのみならず、早期補修によるライフサイクルコストの削減にもつながるものとして期待された。 また、同組合の「こどもを守ろうプロジェクト委員会」では、次世代を担う子どもたちを「交通事故・犯罪・災害」などの災禍から守ることを目的として全国展開されている「こどもを守ろうプロジェクト事業」に、社会貢献活動の一環として全組合員が一致協力して取り組んでいる。この活動の中で、土砂災害エリアを表示した案内標識看板及び路面標示シートを通学路に設置したことについては、早期避難行動につながるなど、「地域防災意識の向上に大きく貢献する」として行政からも高く評価されており、その功績は大きい。 ■ 広島県中小企業団体中央会に関する功績 平成24年6月、広島県中小企業団体中央会の理事に就任し、持ち前の積極性と行動力をもって会長及び副会長を補佐し、諸施策の普及に積極的に取り組んだ。 理事就任以来今日に至るまで、同会の活動充実と価値向上に率先して取り組んでいる。同会の3カ年計画である「広島県中央会ビジョン」の策定に当たっては、高い見識とリーダーシップを遺憾なく発揮し、中小企業組合及び組合員企業への支援充実に真に必要な方策について、先見性と示唆に富んだ提言・助言を行い、アクションプランの策定に大きく貢献するとともに、自らその推進にも奔走するなど、ビジョン実現の牽引役として大きな役割を果たしている。 このほか、卓越した指導力と大局的見地をもって組織運営に参画し、組合間の連携強化や若手経営者の育成にも尽力している。自組合の発展のみならず、広島県全体の繁栄と県民の安全・安心を常に念頭に置いた真摯な活動姿勢は、同会会員の模範となるものであり、県内中小企業団体の健全な発展と地域経済の活性化に対する功績は誠に多大である。 これら広島安全施設業協同組合及び広島県中小企業団体中央会に対する長年の功績が認められ、平成30年6月には広島県中小企業団体中央会会長表彰を、令和元年11月には全国中小企業団体中央会表彰を受賞するなど、優れた見識をもって同会の運営に大きく貢献している。		

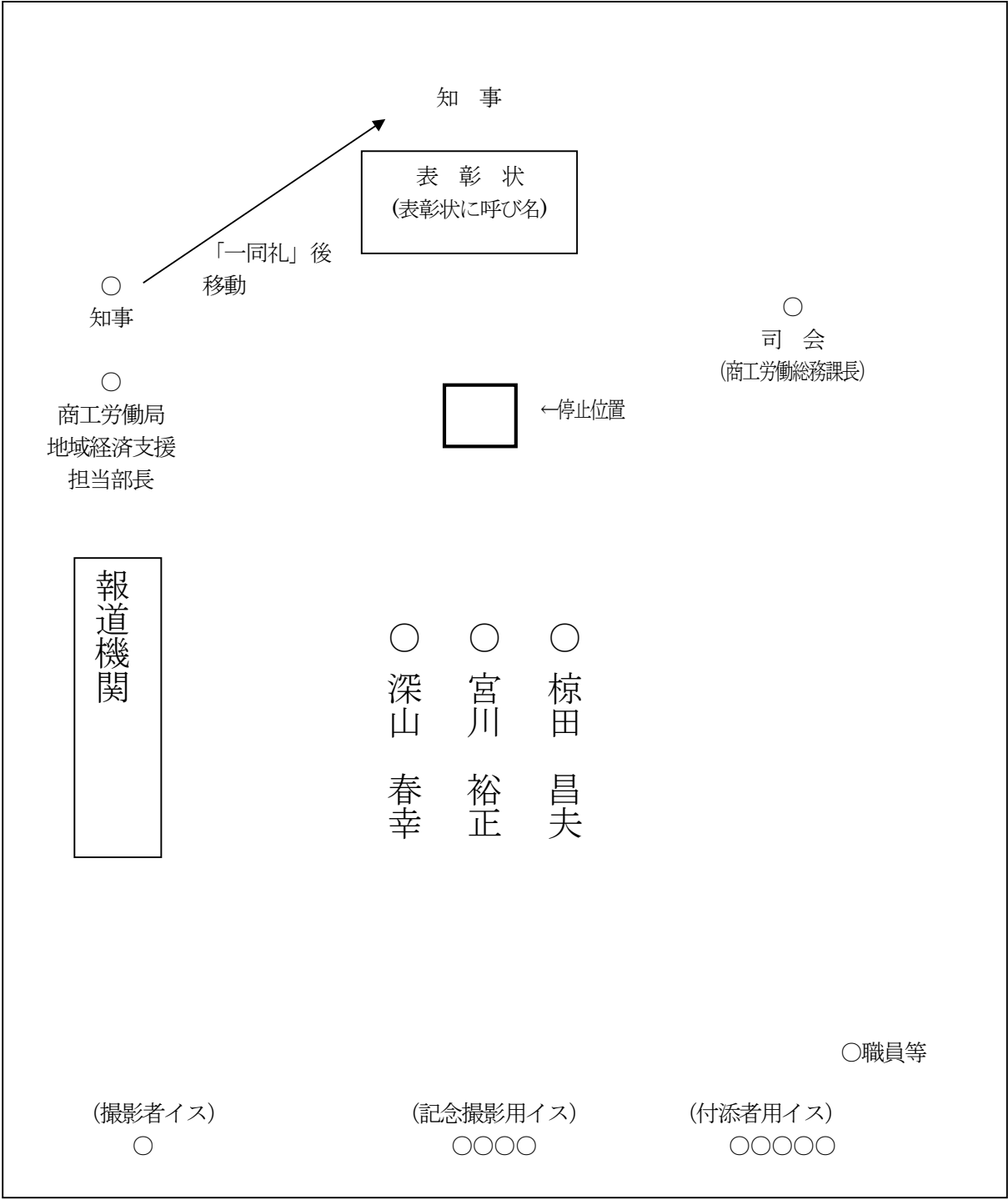
氏 名	みやま はるゆき 深山 春幸 72歳 (昭和29年3月20日生)	推薦団体	広島県信用組合協会推薦
		現 住 所	広島市南区
主な職歴	広島県信用組合 理事長	表 彰 歴	なし
主な功績	■ 地域金融並びに地域への功績 昭和51年4月、広島県信用組合に入組、以来50年以上の長きにわたり、金融業界に身を置き、営業、融資、監査等幅広い業務に従事するとともに、豊富な実務経験と卓越した識見をもって中小・小規模事業者等の指導育成と金融の円滑化など幅広い分野で地域の活性化に力を注いできた。 同組合の営業地域は広島県下一円におよび、店舗数は出張所を含め24か店となっている。本店は広島市に位置し、県西部は廿日市市、県東部は福山市など、瀬戸内海沿岸地域を中心に展開している。取引先は不動産業、建設業、卸・小売業、サービス業、製造業等多業種にわたり、個人への融資比率も高い。 信用組合の理念である「相互扶助」の精神を深く理解し、地域生活者、中小零細事業者、組合員との信頼関係を何より重視した業務運営に努めている。地域金融機関として公共性使命を強く認識し、地域社会との共存共栄を図る姿勢のもと、お客さま一人ひとりに寄り添った金融支援を実践している。 特に、中小零細企業事業者に対しては、単なる資金供給にとどまらず、経営課題への相談対応や事業継続支援等にも積極的に取り組み、地域経済の維持発展に貢献している。 また、個人利用者に対しても生活支援や資産形成支援に尽力し、厚い信頼を得ている。 令和4年6月の理事長就任以降は、経営体質の強化と経営基盤強化に尽力し、厳しい金融環境下においても安定した業績の確保に努めている。 このような取り組みを一貫して実践し、直近決算である令和7年3月末の業績は、資金量（預金）が3,799億円（9.0%増）、融資量（貸出金）が2,737億円（16.3%増）、自己資本比率が8.85%（0.66%ポイント増）となっている（カッコ書きは、氏が理事長に就任した年の直前期である令和4年3月期との比較）。そのほか、政府系金融機関との連携や県・市の制度融資の推進を図り、組合員6万9千余名の経済的地位の向上などに貢献してきた氏の功績は大きく、高く評価されている。		
	■ 地域のスポーツ振興への功績 地域スポーツの振興が地域活性化および青少年健全育成に果たす役割を深く認識し、地域に根差したプロスポーツチームであるサンフレッチェ広島への支援活動に積極的に取り組んでいる。 特に、金融商品を活用した応援企画や地域一体型の応援活動を推進し、地域住民がスポーツを通じて一体感を醸成できる環境づくりに尽力している。また、地域金融機関として地元企業・地域住民・スポーツ団体をつなぐ役割を果たし、地域経済の活性化とスポーツ文化の発展に大きく貢献している。 さらに、スポーツを通じた地域貢献活動は、子どもたちに夢や希望を与えるとともに、地域コミュニティの結束強化にも寄与しており、地域社会に対する強い使命感と相互扶助の精神を体現する取り組みとして高く評価されている。		
	■ 広島県信用組合協会に関する功績 地域経済発展のため地域で集めたお金は地域に還元（融資）するという基本姿勢と相互扶助を目指す信用組合理念推進のもと、平成28年7月から広島県信用組合協会総務委員会の副委員長として、また令和4年7月からは広島県信用組合協会の副会長として、県下信用組合との協調を図りながら、経営体質の強化と経営基盤強化による地元中小企業の発展支援のため、関係団体と協調しながら必要な事業の遂行、地元の発展、支援に努めている。 具体的には、広島県や広島県観光連盟との協調による卸・小売業やサービス業等の経営支援、広島県警察本部との協調によるマネーロンダリング対策や特殊詐欺等の未然防止、広島県信用保証協会との協調による融資推進、中小企業活性化協議会との協調による事業再生、中小企業団体中央会や中小企業基盤整備機構との協調による事業者支援、人材育成のための組合職員の研修事業の推進、地域社会のイベントへの参加・協賛の推進等数多くの事業に積極的に取り組んでいる。		
	■ 広島商工会議所に関する功績 金融機関人として、地域の中小零細企業の育成繁栄に努めた。令和4年6月、広島商工会議所の議員並びに理財部会の常任委員に就任し、地区内における商工業の改善、発達を図るとともに、一般の社会福祉の増進に資するという商工会議所機能の発揮に貢献している。		

表彰式配置図

(県庁北館 2 階第 1 応接室)

入
口

入
口

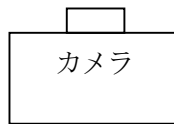


記念撮影配席図

(県庁北館2階 第1応接室)

入
口

○	○	○	○
深山	宮川	知事	棕田
春幸	裕正		昌夫



入
口